

きいて視まい！ぼくらの香川

～University Radio Project～

代表者 杉野航洋（教育学部学校教育教員養成課程3年）

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、「香大生が香川を伝える」という取り組みである。私たちは平成25年度から7年間に渡り、ラジオ番組「Art Time Junction」の制作を行ってきた。今年度は香川県内のイベントだけでなく、香大生にも取材の焦点を当て、香川と香川大学の魅力をラジオ番組として発信した。これまで香川の魅力を中心に取材を行ってきたが、香大生にも取材を行うことで、香川大学の魅力を様々な切り口から番組を放送した。その際、香川大学に数多く存在するサークルや他のプロジェクト、学生団体とコラボし、学生の活躍の様子を大学の宣伝を交えて伝えた。

また、今年度は子どもたちにラジオに親しみをもってもらうために、子どもと一緒にラジオ番組をつくる、ラジオセミナーを行なった。FM高松で2019年7月から2020年3月にかけて22時から23時の60分番組を毎月第4水曜日に放送し、合計で9本製作した。

2. 実施期間（実施日）

令和元年7月1日から 令和2年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

本プロジェクト事業は、毎月第4水曜日の22時から23時までFM高松においてラジオ放送を行ったものである。今年度は「きいて視まい！ぼくらの香川」をテーマに番組放送を行った。例年通り、香川の各所にメンバー自ら赴いて取材し、香川の魅力を再発見し、発信した。それに加えて、今年度は香川大学の情報やイベント等の宣伝を含めた発信を行うとともに、瀬戸内国際芸術祭への取材、香川大学や大学外で活躍する学生に焦点を当て、ゲストとして番組に招き、彼らが所属する団体やサークルを紹介した。また、番組作りだけでなく、広島経済大学や



広島経済大学（FMハムスター）との交流

また、番組作りだけでなく、広島経済大学や

立命館大学との交流会、子どもたちにラジオに親しみを持ってもらうための子どもラジオセミナーを行った。毎年恒例となっている広島経済大学訪問の際は、生放送への参加や意見交換会などを行い、お互いの番組作りに対する熱意や意見、考えを学ぶことができた。12月に京都で行われた広島経済大学、立命館大学、香川大学の3大学交流会では他大学の学生とチームを組み、厳しい条件のもと、限られた時間で生放送番組を制作するという演習を行い、メンバー各々のスキルアップを図ることができた。



香川大学長公開収録の様子

それだけでなく、他大学や他県での番組制作や交流会を通して、香川を主観的ではなく、客観的に見ることができ、他県と比較しての香川の魅力を発見することができた。子どもラジオセミナーでは地域の小学生にラジオに出演してもらうことによって、ラジオに親しみをもってもらうために行った。セミナーでは子どもたちにラジオについて子どもたちに興味をもってもらえるよう、クイズを出しながら説明しラジオの役割や歴史を知ってもらった。また、実際にラジオ番組に出演することによって、ラジオへの興味、理解を深めてもらうことができた。この活動に参加した子どもたちがこれからラジオを聴くようになることによって、若者のラジオ離れの抑制につながることができるようになるだろう。

放送日時	主な放送内容
4月24日	新歓祭（新入生トーク）
5月22日	瀬戸内国際芸術祭春の陣（直島）、新メンバー紹介
6月26日	筧学長公開収録、掃海母艦・掃海艇取材
7月24日	芝浦工業大学交換留学生をゲストスピーカーに招く
8月28日	瀬戸内国際芸術祭夏の陣（豊島）
9月25日	子どもセミナー収録分、内閣府「地方と東京圏の大学生対流促進事業」よりゲストスピーカーを招く
10月23日	なえどこ「たねびと教室」にて瀬戸内国際芸術祭講演会の模様
11月27日	大学祭収録分、チャリティーサンタ企画、直島地域活性化プロジェクトよりゲストスピーカー招く
12月25日	2019年振り返りスペシャル
1月22日	リンクアップとっしーさん「ラジオ講座」、京都研修の模様
2月26日	香川県インターネット・ゲーム規制条例案について討論
3月25日	卒業スペシャル、広島経済大学コラボ生放送（予定）

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業の実施により、香川県内各地の魅力や文化についての情報を大学生の目線から番組を聴いている方々に対して発信することができた。観光地として有名な栗林公園をはじめ、3年度に1度の瀬戸内国際芸術祭、大学内の他のプロジェクト活動を務める代表の方や外部で活躍している団体の方をゲストにお招きしたりすることで幅広い目線から香川を伝えることができた。

また、毎年行っている広島経済大学の「FMハムスター運営プロジェクト」のメンバーと継続した交流を行うとともに、立命館大学の坂田先生のゼミ生との交流も行った。他大学の方と一緒にラジオを収録したり、他県へ赴いて取材をしたり勉強会に参加したりすることで、大学生ならではのコミュニティFM放送を生かした放送とは何か、考えを深めることができた。



3大学合同ラジオワークショップの様子

子どもたちへのラジオセミナーの実施は、子どもたちにラジオへの興味、関心を持ってもらうことで、若い世代のラジオ離れの抑制のために行った。この活動は子どもたちの親もラジオの収録現場に立ち会ってもらい、収録し編集した音源をそれぞれの家庭に送った。そのことによって、家庭でラジオを聴く機会を設けることができた。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

本プロジェクトの主たる活動のひとつとして番組制作が挙げられるが、その過程においてみられた影響および効果について2つ述べる。

一つ目は、広く浅く香川の内実について知ることができたということである。本年度のコンセプトにもあるように香川県下の魅力を発信する上で、発信者たる学生が地域の特色やそこへ住まう人々、行われている活動について取材を行い、地域への理解を深めることができたように感じる。県外での研修を兼ねた取材および他大学交流で得た経験も、私たちの住む香川を俯瞰的に見つめ直すきっかけとなった。このような新たな視点を踏まえて、今までより多面的・多角的な考え方をして生活を送っていけないのではないだろうか。



リンクアップとっしー氏を招いての収録

二つ目は対人対話・企画編集の技能を身に付けられたことである。プロジェクト内での会議・企画はもちろん、取材時におけるアポイントメントや実際の収録での対話や機器操作、子どもラジオセミナーでは小学生と関わりあいながら番組制作を行う事で、汎用かつ実用的な技能を身に付けることができた。こういった技能はラジオ番組制作を行う場面や大学生活において役立つばかりではなく、例えば一般企業における職務を行う際にも役立つ社会に出ても役立つ素地となる経験や知識となり得るものだと考える。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

本年度の主たる活動内容として番組制作と子どもラジオセミナーの2つを年度当初に掲げていた。ここでは先のそれぞれについての反省点について振り返り、今後の抱負を述べる。

まず番組制作についてであるが、年間を通して先を見通した企画・取材や収録等の計画性に乏しいことが挙げられる。以前より3か月先の放送について計画を立てることを目標としているが、継続的に実行されていない。今後の運営について一考の余地がある。また、技術的な側面において各コーナー、番組制作担当において収録の際に音量調整が不十分であったり、編集作業後の音量レベルにばらつきがあったりすることが多々あった。統一の基準を確認した上で、一度全体で振り返る機会を設けることも考えるべきだと思った。

次に子どもラジオセミナーに関してであるが、本年度は昨年度のプレセミナーでの経験を踏まえながら小学生7名を招いて開催することができた。（8月25日 @亀阜コミュニティーセンター）年度当初の計画では大学施設内で行う予定であったが、実施日の変更により急遽コミュニティーセンターでの開催となった。企画内容については回数を重ねるごとに向上していると思われるが、実施に係る準備が円滑に行われていないように感じる。長期間を見通した準備から当日までの流れをメンバーで共有し、早期から支度することが大切である。



夏休み子どもラジオセミナーの様子

全体的な活動を振り返ると、活動実施日（取材・収録日、研修日程等）が不定期であることも相まって活動状況がメンバー内できちんと共有できていない状況が発生していた。基礎的な技能の維持向上を含めた定期的な活動時間を新たに設けるなど協調・協同の体制を強化することが今後の課題である。

7. 実施メンバー

代表者	杉野 航洋（教育学部 3年）	
構成員	中田 尚紀（教育学部 4年）	木村 一豊（農学部 4年）
	木村菜々花（経済学部 2年）	向山 快（経済学部 2年）
	中村 香月（経済学部 2年）	山下日奈子（経済学部 2年）
	摺田 真幸（創造工学部 2年）	木村 聡喜（経済学部 1年）
	中嶋日菜子（農学部 1年）	

8. 執行経費内訳書

配分予算額		300,000円		
執行経費（品目等）	数量	単価（円）	金額（円）	備考
電波使用料（増税前）	2	5,400	10,800	8,9月分
電波使用料（増税後）	6	5,500	33,000	10～3月分
瀬戸芸観覧に係る船舶利用料金				
夏会期	5	2,660	13,300	豊島取材
秋会期	5	1,070	5,350	本島取材
瀬戸芸観覧に係る入場料金等				
豊島美術館	4	1,540	6,160	豊島
豊島横尾館	1	510	510	豊島
心臓音のアーカイブ	5	510	2,550	豊島
漆喰鏝絵ワークショップ	5	500	2,500	本島
海境	4	300	1,200	本島
瀬戸芸移動・交通費				
レンタサイクル代	5	500	2,500	豊島
電車賃「高松—丸亀」（往復）	3	1,120	3,360	本島
電車賃「宇多津—丸亀」（往復）	1	340	340	本島
京都研修に係る移動・取材費				
バス代	1	45,300	45,300	
宿泊料	1	36,250	36,250	
取材費	1	2,100	2,100	
広島研修に係る移動・取材費				
バス代（高松駅—広島駅）	2	6,560	13,120	
バス代（高松中央—広島駅）	1	6,400	6,400	
鉄道費	3	1,260	3,780	
宿泊料	3	4,180	12,540	
船代	3	360	1,080	
宮島取材費	3	1,180	3,540	
キャンセル料	1	100	100	バス代
志々島取材に係る移動・取材費				
電車賃「神前—詫間」（片道）	1	1,300	1,300	
電車賃「高松—詫間」（往復）	1	1,740	1,740	
電車賃「高松—詫間」（片道）	1	870	870	
電車賃「坂出—詫間」（片道）	1	460	460	
電車賃「詫間—宇多津」（片道）	1	360	360	

バス代「詫間—詫間庁舎」(片道)	3	100	300	
船代「宮の下—志々島」(往復)	3	700	2,100	
収録機材等				
ダイナミックマイク	1	6,160	6,160	
マイクケーブル	5	1,650	8,250	
ヘッドホン	1	2,420	2,420	
USBメモリ	2	715	1,430	
合 計			231,170	